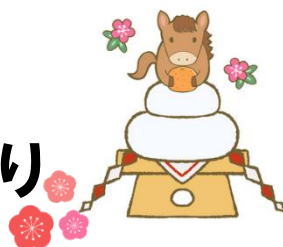




橙組・緑組・青組だより



令和 8 年 1 月 5 日
国 立 保 育 園
3.4.5 歳児クラス

1 月号

あけましておめでとうございます。新年を迎え、今年度も残り 3 ヶ月となりました。引き続き、子どもたちの成長を見守っていきながら一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。また、空気が乾燥し体調を崩しやすい時期のため、体調管理にも気をつけていきたいと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



○だいたい組

- ・手洗いや鼻をかむことの大切さを知り、進んでしてみようとする。
- ・正月の遊びや伝承遊びに興味を持ち、保育士や友だちと一緒に楽しむ。

○みどり組

- ・手洗いを丁寧にいき、感染症に気を付けながら過ごす。
- ・お正月ならではの遊びに興味を持ち、友だちと一緒に楽しむ。

○あお組

- ・就学に向けて期待を持ち、身の回りのことを丁寧にやる。
- ・正月遊びに興味を持ち、友だちと遊びを楽しむ。
- ・友達と互いの良さに気づき、一緒に遊びや生活を進める楽しさを味わう。



おねがい

- 髪の毛について…髪の毛が長いお子さんは、結んでいただくようお願いします。
ゴムは、飾りのないもので、時間がない時は連絡袋に入れてお持ちください。(シリコンゴムは切れやすいため、お控えください)

- ご家庭のオモチャやお友だちへの手紙が、かばんに入っていることがあります。
トラブルや破損につながる恐れもありますので、再度お子さまと一緒にお荷物の確認をお願いします。

もちつきの様子



お父さん、お母さんにも
ご協力いただきました。
ありがとうございました。



ついたお餅で鏡餅を
作りましたよ！



3歳児クラス だいたい組 『まほうのでんしレンジ！』

12月13日に初めての「おたのしみ会」がありました。料理を作ることが大好きな子どもたちに合わせて、『まほうのでんしレンジ』という絵本を読むと知っているお友だちも多く、「やってみたい！」とすぐに題材が決まりました。電子レンジから出てくる食べ物を何にするのか…自分の持つ、お皿の色を決めて絵具で塗ったり…電子レンジもみんなで筆を使って塗りました。衣装は、食育活動で用意してもらった、自分たちのエプロンと三角巾にしました。少しずつ形になっていくのを楽しみながら遊びの中で取り組んでいきました。最後は、一緒にでるお友だちも子どもたち同士で相談したり、出る順番も決めたりしました。当日は、たくさんのお客さんに少し圧倒され、緊張していたお友だちもいましたが、今できることをお客さんに見せていた子どもたち。想像していた以上に最後



最後まで参加していたことに一人ひとりの成長をとっても感じた時間でした。

一回りも二回りもたくましくなっていく子どもたちの成長を傍でみることが

ができ、嬉しく思います。緑組さん、青組さんの憧れていた衣装を着たり、

小道具に触れたりしながら「おたのしみ会」の余韻遊びも楽しんでいた子どもたちでした。

4歳児クラス みどり組 『楽しいね！！』

「おおきなかぶ」の表現遊びは、子どもたちと役決め、チーム名、登場の仕方、衣装、ポーズは？と相談して決めてきました。「こうしたい！」という思いを伝えてくれ完成し、緑組ならではの劇が完成しました。「緊張したけれど楽しかった！」「ぎゃるは一との時、盛り上がったね」等と当日の感想をお友だちと振り返りながら話している姿も見られました。おたのしみ会後の食事では「ポトフ」が出ると、「おたのしみ会で園長先生に渡した、かぶが入ってる。ありがとうを言おう」と事務所へ伝えに行く子もいました。また、余韻あそびでは、ホールに他のクラスの衣装や小道具が集まり、入ったとたんに「これ着る」「このお料理おいしそう」と色々な役へ変身です。他のクラスの物を身にまとうと、突然その役のセリフが聞こえ、いつの間に覚えたの？と驚く程でした。最近では、「これおもしろそう」「やってみたい」「こんなもの欲しい」と思う事が楽しくなってきたのか、廃材での工作やブロックなど作りたいものを作るために集中して作っています。お人形が住むお家を画用紙と廃材で作ったり、アクセサリを作って身につけてみたりと工作での材料が増えれば増えるほど、アイディアも増えていっている状況です。

これからも、子ども達の「やってみたい」の思いを大切にしていきたいと思います。



5歳児クラス あお組 『みんなで作ったおたのしみ会』

おたのしみ会に向けては、はじめに子どもたちと「何をするのか」を話し合ってきました。なかなかやりたいことがまとまらず、サークルタイムの中でもいろいろな絵本を読んできました。その中で話し合いを重ね、『オズの魔法使い』になりました。はじめは物語を知らない子も多かったのですが、やることが決まると「もう一回読んでほしい」「自分で読んでみたい」と、絵本を手取る姿が増えていきました。取り組みの中でも、自分たちでやりたい役を選び、役になりきって表現することを楽しんだり、友だちのセリフを覚えて教え合ったり、子どもたちだけで台本を読み合わせしたりと、友だちと一緒に物語の世界観に入り込んで楽しむ姿がみられていました。発表会当日には、堂々と舞台の上に立って発表をやり遂げることができ、一人ひとりの達成感や、自信にもつながったのではないのでしょうか。

おたのしみ会が終わった後にも、絵本を読んだりセリフを口ずさむ姿が見られましたよ。卒園まで残り3ヶ月となりましたが、これからも子どもたちといろいろなことを相談しながら、楽しく過ごしていきたいと思います。

